

最新情報・トレンドを集約

第21回 不動産ソリューションフェア 結果報告

不動産業界最大級の総合展示会として今年で21回目を迎えた「不動産ソリューションフェア」。大手不動産各社が手掛ける開発の最新動向から、所有物件の収益力向上に貢献する製品・サービス、相続・事業承継や賃貸借契約をはじめとする法律・税務関連など、幅広いジャンルの出展企業が集い、ビルオーナーを中心とする不動産業界関係者が来場した。2日間の総入場者数は約1万1000人であった。残念ながら昨年と同様に記録を上回ることができなかったものの、注目の展示ブースやセミナー・パネルディスカッションには行列が形成されるなど会場内は熱気に包まれた。

今年で21回目となった「不動産ソリューションフェア」は、9月19日・20日の2日間にわたり、江東区有明の東京ビッグサイトにて開催された。ライフスタイルの多様化やビジネスの国際化が不動産業界に大きな影響を及ぼす中、「未来への前進～不動産テックで変わる働き方とビル経営のあり方～」を全体テーマとし、出展企業による展示ブースと2日間で60を超えるセミナー・パネルディスカッションをプログラムした。ここからは「第21回不動産ソリューションフェア」の様をお伝えしていく。



▶ 精巧な模型も展示

展示会の全体テーマでもある「不動産テック」もあつた。元東京都副知事の青山俊氏。「まちづくりの活性化、働き方改革とビル経営の多様化」を講演テーマに掲げ、最先端の都市開発と新しい働き方について話し合われた。パネリストには、三井不動産・三菱地所・森ビル・UR都市機構といった都心の再開発の主要とも言うべき大手各社のキーマンが登壇。コイデイナーを務めた青山氏は東京都の都市づくり行政の中枢に長く関わってきたエキスパート。来年の夏季オリンピック・パラリンピック開催を控えた東京都心のインフラ整備の現状と、不動産各社が推進する魅力ある不動産開発とまちづくりの状況が紹介された。また、会期1日目は関西の三大都市である大阪・神戸・京都の副市長

をそれぞれ招き、関西エリアの活性化を目指したまちづくりをテーマとしたパネルディスカッションも展開。万博の開催が決定し、IRの誘致も進む関西で、今まさにどのような都市の再整備が開きようとしているのか、都市計画行政のトップが登壇。この2つのパネルディスカッションが来場動員ランキングでは上位に入った。

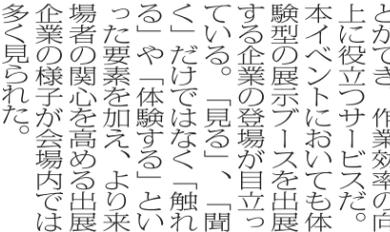


▲ 開場前には受付に長蛇の列

このほか、既存ビルの付加価値向上や再生に関するセミナーにも多くの来場者が耳を傾けた。ブース出展も果たした「トコポレ」は、弊紙コラムでもお馴染みのリアルゲイトが、既存中小ビルの収益性を高める「リノベーション・リニューアル事例」を紹介。好調といわれる賃貸オフィス市場で、所有物件の付加価値向上に対する注目度の高さを改めて感じさせた。

展示会の全体テーマでもある「不動産テック」もあつた。元東京都副知事の青山俊氏。「まちづくりの活性化、働き方改革とビル経営の多様化」を講演テーマに掲げ、最先端の都市開発と新しい働き方について話し合われた。パネリストには、三井不動産・三菱地所・森ビル・UR都市機構といった都心の再開発の主要とも言うべき大手各社のキーマンが登壇。コイデイナーを務めた青山氏は東京都の都市づくり行政の中枢に長く関わってきたエキスパート。来年の夏季オリンピック・パラリンピック開催を控えた東京都心のインフラ整備の現状と、不動産各社が推進する魅力ある不動産開発とまちづくりの状況が紹介された。また、会期1日目は関西の三大都市である大阪・神戸・京都の副市長

展示会を通じて自社の推進する最新プロジェクトや取り組みを紹介。不動産業界では大手各社の本社移転と働き方改革がトレンドとなっているが、自社の働き方改革の取り組みやベンチャー支援など、これまでにない大手各社の試みもブース内で紹介された。今回の不動産ソリューションフェアでは不動産テック関連の企業ブースの出展も大いに存在感を放っていた。外壁の点検・診断やオフィス内の巡視など様々な場面での活用が期待されているドローンは、ハミングバードが実演コーナーを設けて展示。日本ユニシスの「まるとと点検」は、スマートグラスを用いて設備点検作業の映像をリアルタイムで遠隔地から見ることで、作業効率の向上に役立つサービスだ。本イベントにおいても体験型の展示ブースを出展する企業の登壇が目立っている。「見る」「聞く」だけでなく「触れる」や「体験する」といった要素を加え、より来場者の関心を高める出展企業の様子が会場内では多く見られた。



▲ ドローンのデモ展示も

展示会を通じて自社の推進する最新プロジェクトや取り組みを紹介。不動産業界では大手各社の本社移転と働き方改革がトレンドとなっているが、自社の働き方改革の取り組みやベンチャー支援など、これまでにない大手各社の試みもブース内で紹介された。今回の不動産ソリューションフェアでは不動産テック関連の企業ブースの出展も大いに存在感を放っていた。外壁の点検・診断やオフィス内の巡視など様々な場面での活用が期待されているドローンは、ハミングバードが実演コーナーを設けて展示。日本ユニシスの「まるとと点検」は、スマートグラスを用いて設備点検作業の映像をリアルタイムで遠隔地から見ることで、作業効率の向上に役立つサービスだ。本イベントにおいても体験型の展示ブースを出展する企業の登壇が目立っている。「見る」「聞く」だけでなく「触れる」や「体験する」といった要素を加え、より来場者の関心を高める出展企業の様子が会場内では多く見られた。

展示会を通じて自社の推進する最新プロジェクトや取り組みを紹介。不動産業界では大手各社の本社移転と働き方改革がトレンドとなっているが、自社の働き方改革の取り組みやベンチャー支援など、これまでにない大手各社の試みもブース内で紹介された。今回の不動産ソリューションフェアでは不動産テック関連の企業ブースの出展も大いに存在感を放っていた。外壁の点検・診断やオフィス内の巡視など様々な場面での活用が期待されているドローンは、ハミングバードが実演コーナーを設けて展示。日本ユニシスの「まるとと点検」は、スマートグラスを用いて設備点検作業の映像をリアルタイムで遠隔地から見ることで、作業効率の向上に役立つサービスだ。本イベントにおいても体験型の展示ブースを出展する企業の登壇が目立っている。「見る」「聞く」だけでなく「触れる」や「体験する」といった要素を加え、より来場者の関心を高める出展企業の様子が会場内では多く見られた。



特別企画 「まちづくりハッカソン」を開催!



「第21回不動産ソリューションフェア」の目玉として企画されたのが、「まちづくりハッカソン」である。「ハッカソン」とは、与えられたテーマに対してアイデアを出し合い、より魅力的な答えを導き出そうというビジネス用語。「まちづくりハッカソン」は参加者が「まちづくり」をテーマに自身の考えや実績を発表し、大手不動産各社でまちづくりの最前線に立つ役員クラスがその内容を評価するという方式で展開された。今回の「まちづくりハッカソン」に参加したのは、以下の7団体である。

＜学生の部＞
千葉商科大学／東京工業大学
＜自治体の部＞
茨城県つくばみらい市／埼玉県さいたま市
東京都文京区／東京都品川区／東京都府中市
まず行われた学生の部では、現状の都市の課題や問題点などを踏まえた上で「自身が思い描く不動産開発やまちづくり」をテーマにプレゼンを展開。学生ならではの奇抜な発想や思い切りの良いアイデアが披露され、オブザーバーとして出席した不動産各社の役員はプレゼン内容にうなずく場面や、微笑む場面が多く見られた。オブザーバーのリーダーとして出席した元東京都副知事の青山俊氏も舌を巻くプレゼン内容の完成度は、聴講者の高い関心を集めていた。
その後に行われた自治体の部では、東京および首都圏の5自治体が参加。都心や多摩地区の中心都市、郊外のベッドタウンと、参加自治体の人口動態や産業構造は様々で、それぞれの特徴を生かしたまちづくりの取り組みが紹介さ

れた。不動産開発では行政団体による都市計画の後押しが不可欠である。各自治体が抱える問題点や、その問題点を解消あるいは克服するために展開されている取り組みの発表に、オブザーバーは熱心に耳を傾けていた。すべてのプレゼン終了後には青山氏による講評の後、学生の部で参加した2チームに対し参加賞が贈られた。初開催となった「まちづくりハッカソン」は、「テーマに対して一生懸命取り組んだ学生の姿に感心した」、「最新のまちづくりを知ることができた」など好評の声が寄せられた。更に参加チームを増やし今後も継続的に開催する予定だ。



「まちづくりハッカソン」

主催 株式会社ビル経営研究所

特別協賛

日鉄興和不動産株式会社

協力

三井不動産株式会社、三菱地所株式会社、東急不動産株式会社、森ビル株式会社

ブース・セミナーで自社をPR 第21回 不動産ソリューションフェア

新たな出会いをつくる場に

速報 出展者の声



▲講演内容に熱心に聞き入る聴講者

最新商品の紹介に思わず足が止まる

FM防災Lab



上倉 秀之氏

ビル・不動産オーナーと知り合える機会は希少

テナントビルのオーナーや不動産オーナーと知り合える機会は希少で、情報交換や知り合いをつくることもできませんでした。ただ少し心なしか、会場内を歩いている来場者は少ないかなと感じました。またビルオーナー・不動産オーナーが聞いたセミナーと、そうでないセミナーの聴講者の差がはっきりと見られた点も印象的でした。大手不動産会社や電鉄、一部の企業セミナーに聴講者が多く訪れ、一



方で数人しか入っていないセミナーもあるなど、事前の集客よりもオーナーが聞きたい内容を事前にリサーチして用意することが大事だと思います。特にセミナーのタイトルがオーナーに刺さるのには、自社の都合や宣伝となっていると、集客は芳しくなかったかなと感じました。今回の出展を踏まえて、今後の営業や宣伝に生かすことができたかと考えております。

JARECO国際不動産カレッジ



事務局長 杉浦 隼城氏

望まれるより強い認知度

昨年引き続き2回目の出展となりました。今年も引き続き、働き方改革や不動産テクノロジーパネルディスカッションのお手伝いをさせていただき、様々な反響をいただきました。強めてほしいです。

モス山形



代表取締役 山本 正幸氏

2ブースに拡大して出展

昨年引き続き2回目の出展です。昨年は1ブースでしたが、今年は2ブースに広げて

す。環境ビジネスは行政の影響が強く、緑化ビジネス自体は衰退傾向にあるかもしれませんが、屋上などで緑化をすればビルの付加価値にもなります。ご来場のビルオーナーの皆様には緑化はどのようなかを見て頂けたことと思います。

ビルオーナーと知り合い貴重な意見も

押入れ産業



主任 木戸 博美氏
営業本部 木戸 博美氏

今回は展示会への出展とセミナーの開催を行いました。セミナーは20日の13時から開

催。出展ブースに立ち寄って下さった人も加え、数人のビルオーナー・不動産オーナーと知り合うことができました。知り合ったビルオーナーとは情報交換や自社の展開するレンタル収納スペースについての特長・優位性なども述べ、新しいビジネスの機会創出にも繋がったかと思っております。今後の展開に繋げて行きます。

ドローンへの関心の高さに驚き

ハミングバード



代表取締役 鈴木 伸彦氏

ドローン操縦士養成の「ドローンスクール」が、来場者の皆様の関心の高さに驚きました。ドローンを初めてご覧になる方もいらしたと思います。ドローンには始まったばかりのサービスです。ビルオーナーの皆様のお役に調査事業、コンサルティング等をしておりまして、今回、初めて出展

新しいビジネスモデルを準備

EMシープランナーズ



代表取締役 島山 文明氏

例年この「不動産ソリューションフェア」に出展していましたが、当社はタイムペットを廃棄する。このイベントを通じてビルオーナーとのつながりを構築することができ、当社事業をより多くの方に知って頂くための方針が間違っていないことを確認しました。カーペットは現状回復の際など、また利用可能であるにも関わらず廃棄されてしまうケースが多く見られます。当社では廃棄されるカーペットを買い取り、リセットして新品同様の美観に仕立てた上で商品を再販する事業の本格始動に向け、準備を進めています。ビルオーナーにとっては現状回復工事の負担軽減になることから大きなメリットを提供できると感じています。事業の開始に向け、今後の事業展開につなげていく考えです。

第21回 不動産ソリューションフェア ★★★★★ ご来場ありがとうございました ★★★★★ (五十音順)

御礼

住所 大阪府大阪市北区小松原町3-3

HP <https://www.financialdo.co.jp>

ファイナンシャルドゥ

御礼

住所 東京都江東区青海2-7-4

HP <https://hb-j.jp/>

ハミングバード

御礼

住所 大阪府大阪市中央区平野町3-1-2

HP <https://www.knot21.jp>

ノットコーポレーション

御礼

住所 東京都千代田区神田練堀町3

HP <https://www.tokyo-inc.com>

東京